

「2019年3月期(第4回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員各社および中連協会各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった607社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、3月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

《海外旅行DI》

DI値は3カ月前(10～12月)から－5ポイント低いマイナス8。3カ月後(4～6月)は＋16ポイント増加しプラス8。6カ月後(7～9月)は現況より＋4ポイント高いマイナス4。

◆現況は好調な個人旅行が牽引し前回調査の見込を上回る。DI値はやや低下はするも、3カ月後のGWへの集中が想定される。遠方を中心に「韓国」以外の全ての地域や多くの顧客層で増加が見込まれる。

《国内旅行DI》

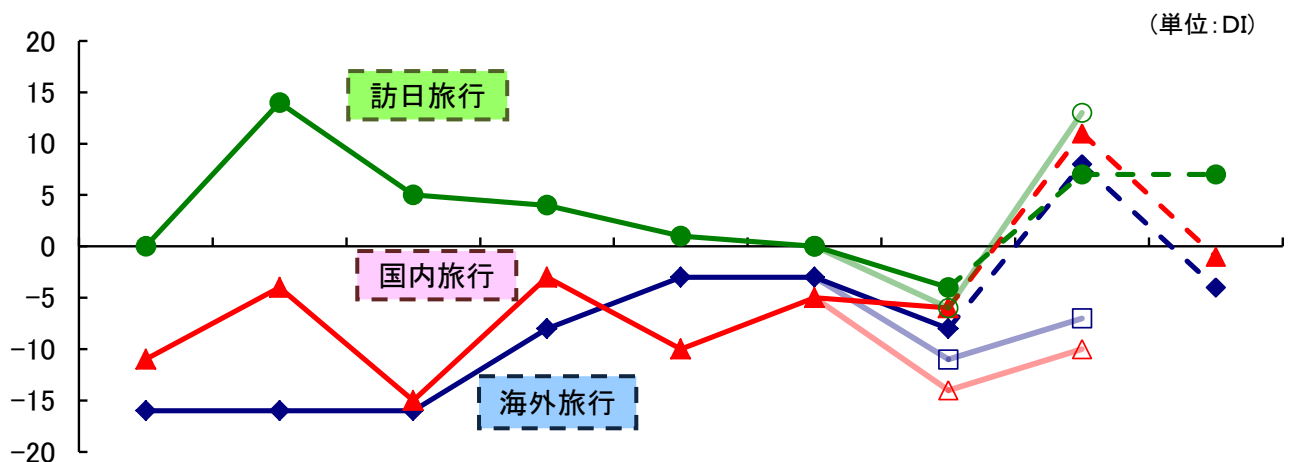
DI値は3カ月前(10～12月)から－1ポイント低いマイナス6。3カ月後(4～6月)は＋17ポイント増加しプラス11。6カ月後(7～9月)は現況よりも＋5ポイント高いマイナス1。

◆現況は前回からほぼ横ばい。個人旅行が回復基調になり、3カ月前は大幅低下が見込まれていたが踏みとどまった。3カ月後は10連休のGWもあり、全国的に業況は良い。特に個人旅行の回復が進み、全体を大きく押し上げプラス圏となる見込み。

《訪日旅行DI》

DI値は3カ月前(10～12月)から－4ポイント低いマイナス4。3カ月後(4～6月)は＋11ポイント増加しプラス7。6カ月後(7～9月)は現況よりも＋11ポイント高いプラス7。

◆現況は低下傾向が続きマイナス圏となった。北海道はやや回復するも地震の影響も残りマイナス圏のまま。他の地域も全体的に低迷。3カ月後のお花見シーズンには1年半ぶりに上昇が見込まれる。



	1年半前 (7～9月)	1年 3カ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
海外旅行全般	-16	-16	-16	-8	-3	-3	-8 ※-11	8 ※-7	-4
国内旅行全般	-11	-4	-15	-3	-10	-5	-6 ※-14	11 ※-10	-1
訪日旅行全般	0	14	5	4	1	0	-4 ※-6	7 ※13	7

※2018年12月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1413社中、登録のあった607社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2019年2月4日（月）～2月22日（金）
設定数	： 607社
回収数	： 267社
回収率	： 43.9%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	28	10.5%
海外旅行 ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	14	5.2%
海外旅行系 旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	18	6.7%
国内旅行 ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	7	2.6%
リテラー1	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	20	7.5%
リテラー2	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	104	39.0%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	40	15.0%
ネット系 旅行会社	上記以外でインターネット販売が 中心である会社	4	1.5%
訪日旅行系 旅行会社	上記以外で訪日旅行販売が中心である会社	32	12.0%

*ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般の業況について

現況は好調な個人旅行が牽引し前回調査の見込を上回る。DI値はやや低下はするも、3ヵ月後のGWへの集中が想定される。遠方を中心に「韓国」以外の全ての地域や多くの顧客層で増加が見込まれる。

総合

海外旅行全般の業況は3ヵ月前と比べて「商用・視察」「教育旅行」の大幅な低下があったものの、「学生」「一人旅」「ファミリー」など個人旅行が好調で前回見通しを上回った。3ヵ月後は前回調査の見込みを大きく上回りプラス圏となる見込み。地域別では「韓国」「中国」が低下したが、遠方の欧州やハワイは好調。「ハワイ」「アジア」は6ヵ月後も好調を維持し、プラス圏となる見込み。

現況(1~3月) は個人旅行が好調。GW前にやや低下したが、前回見込及び対前年は上回る。

海外旅行全般は3ヵ月前(10~12月)から-5ポイント低下だが前回見込よりはやや高いマイナス8。

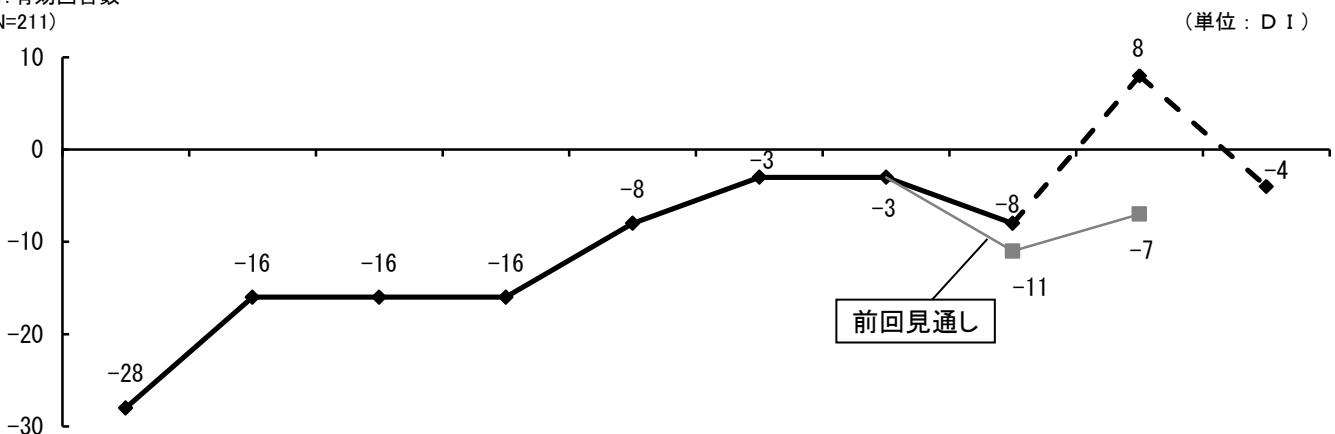
- ・「1-3月は普通だが、GWの影響からか3月の春休みが足踏み状態です。」(海外旅行ホールセラー)
- ・「相変わらずシニア層は海外旅行の需要が高い。一般の募集ツアーは格安と高級の2極化が進んでいる。」(リテラー2)
- ・「韓国が少し戻ったかと思ったが、また情勢悪化で下降気味」(リテラー2)

3ヵ月後(4~6月)は大幅に回復し、プラス圏の見込。6ヵ月後は前年同月比と同程度まで低下。

3ヵ月後(4~6月)は+16ポイント増加しプラス8。6ヵ月後(7~9月)は+4ポイント増加しマイナス4。

- ・「GW中心に集中しており、逆に4月前半・6月の予約が弱い状況」(リテラー1)
- ・「GWの10連休効果もありハワイやヨーロッパといったロング方面で数字が伸びている。」(リテラー1)
- ・「GWに予約が出来なかったお客様が、夏休みにシフトして予約が入り始めている。」(海外旅行系旅行会社)

N:有効回答数
(N=211)



2年前 (1~3月)	1年半前 (7~9月)	1年 3ヵ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9ヵ月前 (4~6月)	6ヵ月前 (7~9月)	3ヵ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3ヵ月後 (4~6月)	6ヵ月後 (7~9月)
-28	-16	-16	-16	-8	-3	-3	-8	8	-4
							※-11	※-7	

※2018年12月期調査見通し数値

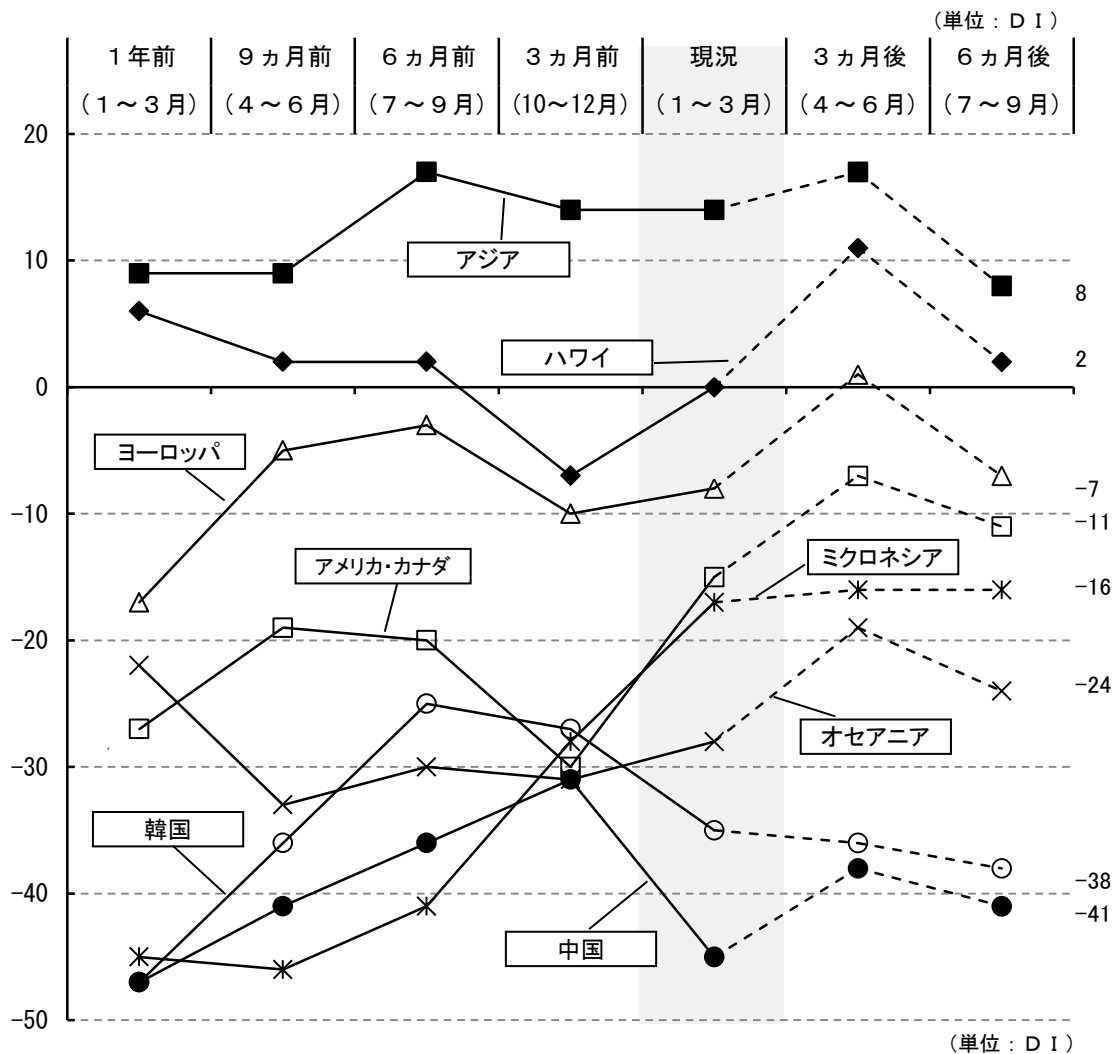
	1年半前 (7~9月)	1年 3ヵ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9ヵ月前 (4~6月)	6ヵ月前 (7~9月)	3ヵ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3ヵ月後 (4~6月)	6ヵ月後 (7~9月)
総合旅行会社	10	15	9	-4	11	34	12	42	27
海外旅行ホールセラー	-21	-44	-25	-32	17	7	-14	0	-14
海外旅行系旅行会社	-14	-17	-35	-6	8	-19	-23	11	-12
リテラー1	3	21	4	43	25	25	39	47	23
リテラー2	-26	-39	-24	-15	-25	-16	-10	0	-14
インハウス	-12	2	-8	0	14	7	-22	-8	-6
ネット系旅行会社	-100	25	-40	-40	12	-50	-50	50	0

◆海外旅行の需要動向（方面別）

現況は「ハワイ」や「アメリカ・カナダ」などアジア圏以外で増加が見られた。3か月後は「韓国」以外の全ての地域で増加。長い連休ということもあり、「ハワイ」「ヨーロッパ」など遠方の増加が続く。「アジア」「ハワイ」「ヨーロッパ」の3地域がプラス圏となる見込み。

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べ「アメリカ・カナダ」は+15ポイント、「ミクロネシア」は+11ポイントと大きく増加。「中国」は-14ポイント、「韓国」は-8ポイントと大きく低下。「アジア」は±0ポイントだったが、依然として方面別DIで最も高い。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は「韓国」を除くすべての方面で増加。特に「ハワイ」（+11ポイント）、「オセアニア」（+9ポイント）「アメリカ・カナダ」（+8ポイント）は大きく増加。「アジア」「ハワイ」「ヨーロッパ」の3方面がプラス圏となる見込み。

N:有効回答数
(N=211)



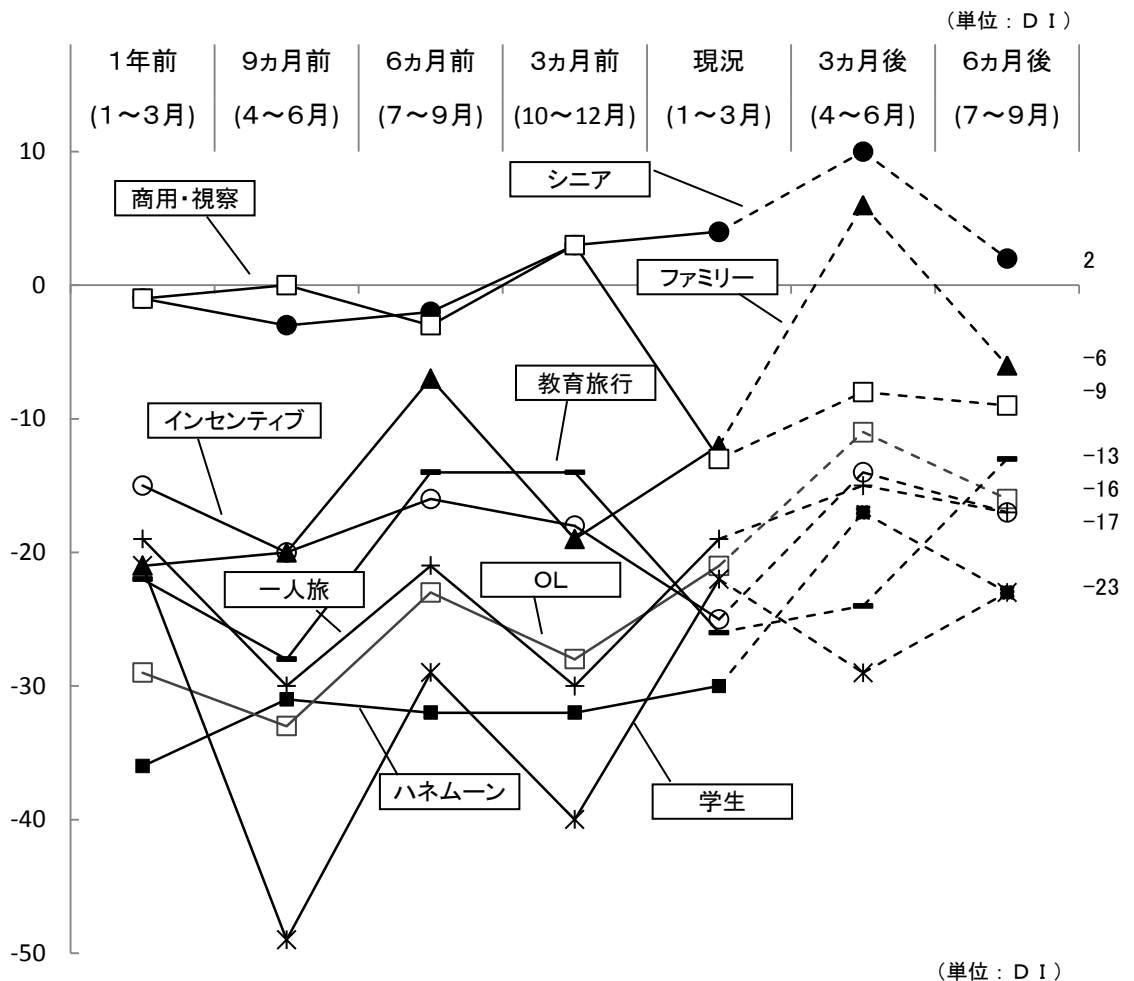
	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
ハワイ	6	2	2	-7	0	11	2
アメリカ・カナダ	-27	-19	-20	-30	-15	-7	-11
ヨーロッパ	-17	-5	-3	-10	-8	1	-7
オセアニア	-22	-33	-30	-31	-28	-19	-24
ミクロネシア	-45	-46	-41	-28	-17	-16	-16
アジア	9	9	17	14	14	17	8
中国	-47	-41	-36	-31	-45	-38	-41
韓国	-47	-36	-25	-27	-35	-36	-38

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

現況は春休みにより、「学生」、「一人旅」は大きく増加。3ヵ月後は10連休のGWもあり、前年同時期と比べて「商用・視察」以外のすべての顧客層が増加。「ファミリー」と「シニア」がプラス圏となる見込み。

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）と比べて「学生」は+18ポイント、「一人旅」が+11ポイント、「ファミリー」「OL」が+7ポイントと個人旅行の客層で大きな増加が目立った。一方で低下したのは「商用・視察」（-16ポイント）、「教育旅行」（-12ポイント）の2セグメントであった。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は、「学生」を除く全ての顧客層で増加が見込まれる。特に大きく増加が見込まれるのは「ファミリー」（+18ポイント）、「ハネムーン」（+13ポイント）、「OL」（+10ポイント）。

N:有効回答数
(N=211)



(単位：D I)

	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
ハネムーン	-36	-31	-32	-32	-30	-17	-23
ファミリー	-21	-20	-7	-19	-12	6	-6
OL	-29	-33	-23	-28	-21	-11	-16
学生（教育旅行を除く）	-21	-49	-29	-40	-22	-29	-23
シニア（60歳以上）	-1	-3	-2	3	4	10	2
一人旅	-19	-30	-21	-30	-19	-15	-17
インセンティブ(*)	-15	-20	-16	-18	-25	-14	-17
商用・視察	-1	0	-3	3	-13	-8	-9
教育旅行	-22	-28	-14	-14	-26	-24	-13

*「インセンティブ」:企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

現況は前回からほぼ横ばい。個人旅行が回復基調になり、3カ月前は大幅低下を見込まれたが踏みとどまった。3カ月後は10連休のGWもあり、全国的に業況は良い。特に個人旅行の回復が進み、全体を大きく押し上げプラス圏となる見込み。

総 合

国内旅行全般の業況は、3カ月前のマイナス5から-1ポイント低下はしたが、前回調査時の見込みと比べると、大きく上振れた。「ファミリー」「一人旅」が回復し、前年度を上回った要因と見られる。3カ月後も個人旅行は回復が進む見込み。全体としては+17ポイントでプラス11と見通しが明るくなっている。地域別でも全地域で現況よりも高くなると予想された。

現況（1～3月）は前回同程度。前回調査で大幅減が見込まれたが、個人旅行が回復して踏みとどまった。

国内旅行全般は3カ月前(10～12月)より-1ポイント低下し、マイナス6。

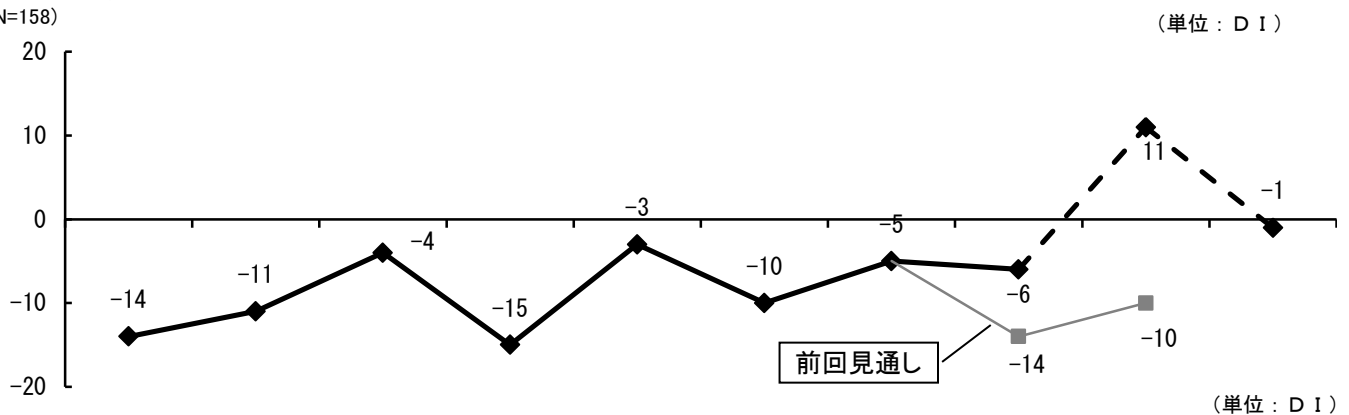
- ・「個人旅行は、昨年のTDR35周年効果が持続しており関東方面全般として好調。」(総合旅行会社)
- ・「職場旅行が大幅に減っている。業績の良い会社は海外旅行にシフトしている。」(リテラー2)
- ・「近場の温泉が春休みに需要が高い。」(インハウス)

3カ月後（4～6月）は、個人・団体旅行が軒並み増加し回復の見込み。

3カ月後(4～6月)は+17ポイント上昇しプラス11。6カ月後(7～9月)は+5ポイント増加しマイナス1。

- ・「新元号やGW10連休に期待感が高い。」(国内旅行ホールセラー)
- ・「GWの10連休効果もあり、各方面で軒並み好調に推移している。特に夫婦旅行と家族旅行が好調。」(リテラー1)
- ・「天皇家退位及び即位という大きなイベントを控え皇室ゆかりの地を巡るツアー等に興味を持たれるお客様が増えてきている。」(リテラー1)
- ・「シニア層の個人、小グループでの動きが増えつつある。」(インハウス)

N:有効回答数
(N=158)



2年前 (1～3月)	1年半前 (7～9月)	1年 3カ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
-14	-11	-4	-15	-3	-10	-5	-6	11	-1
							※-14	※-10	

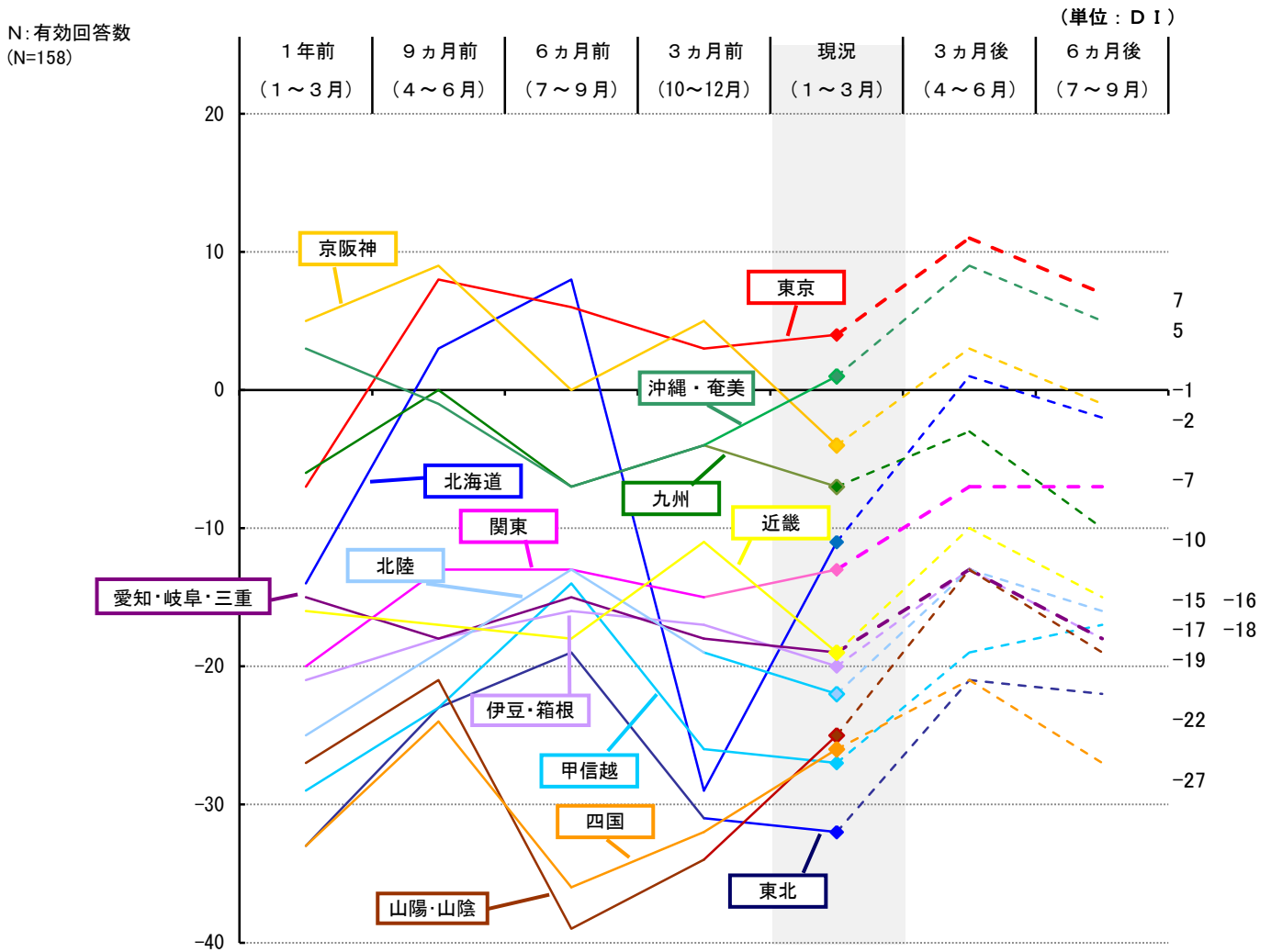
※2018年12月期調査見通し数値

	1年半前 (7～9月)	1年 3カ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
総合旅行会社	-15	-7	-17	10	-11	5	-9	19	-9
国内旅行ホールセラー	0	-33	-17	-27	-25	-16	-15	-15	-14
リテラー1	0	21	-19	-5	-20	-20	6	17	6
リテラー2	-16	-5	-11	-3	-10	6	-2	15	-1
インハウス	-3	0	-11	6	9	-23	-9	6	9
ネット系旅行会社	-27	-20	-33	-50	-33	-75	-50	0	-50

◆国内旅行の需要動向（方面別）

現況は前年同時期と比べて高い地域が多く、地震のあった北海道も3か月前から大幅回復で対前年を上回った。3ヵ月後はGWの影響で全地域で増加し、4つの地域がプラス圏となる見込み。

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べ、「北海道」（+18ポイント）、「山陽・山陰」（+9ポイント）と大きく回復。一方で「京阪神」（-9ポイント）、「近畿」（-8ポイント）の2地域の低下が大きかった。前年同時期と比べて「東京」+11ポイント、「関東」「四国」が+7ポイントなど9地域がプラスと回復した。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）はすべての地域で増加が見込まれる。特に大きく増加するのは「北海道」「山陽・山陰」+12ポイント、東北（+11ポイント）。「東京」「沖縄・奄美」「京阪神」「北海道」がプラス圏となる見込み。



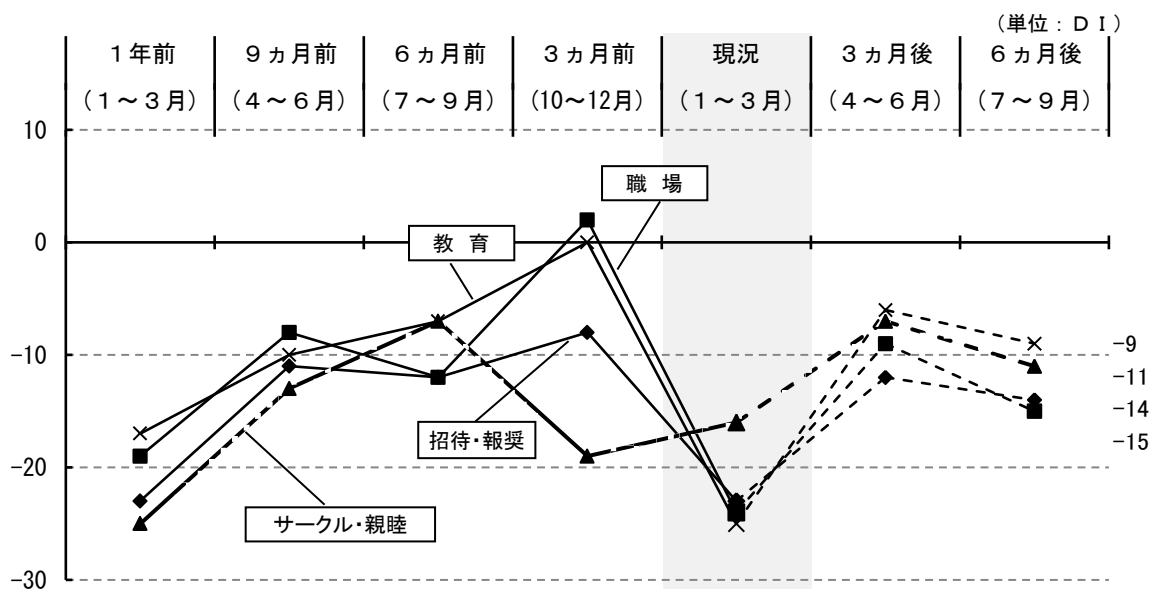
(単位:DI)

	1年前 (1~3月)	9ヵ月前 (4~6月)	6ヵ月前 (7~9月)	3ヵ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3ヵ月後 (4~6月)	6ヵ月後 (7~9月)
北海道	-14	3	8	-29	-11	1	-2
東北	-33	-23	-19	-31	-32	-21	-22
東京(TDR・横浜を含む)	-7	8	6	3	4	11	7
関東	-20	-13	-13	-15	-13	-7	-7
甲信越	-29	-23	-14	-26	-27	-19	-17
伊豆・箱根(静岡を含む)	-21	-18	-16	-17	-20	-13	-18
愛知・岐阜・三重	-15	-18	-15	-18	-19	-13	-18
北陸	-25	-19	-13	-19	-22	-13	-16
京阪神(京都・大阪・USJ)	5	9	0	5	-4	3	-1
近畿	-16	-17	-18	-11	-19	-10	-15
山陽・山陰	-27	-21	-39	-34	-25	-13	-19
四国	-33	-24	-36	-32	-26	-21	-27
九州	-6	0	-7	-4	-7	-3	-10
沖縄・奄美	3	-1	-7	-4	1	9	5

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べ、「職場」（-26ポイント）、「教育」（-25ポイント）、「招待・報奨」（-15ポイント）と低下した項目が多かった。増加したのは「サークル」（+3ポイント）であった。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は全てのカテゴリーで増加が見込まれる。特に「教育」（+19ポイント）、「職場」（+15ポイント）などの大幅な増加が見込まれる。

N:有効回答数
(N=158)

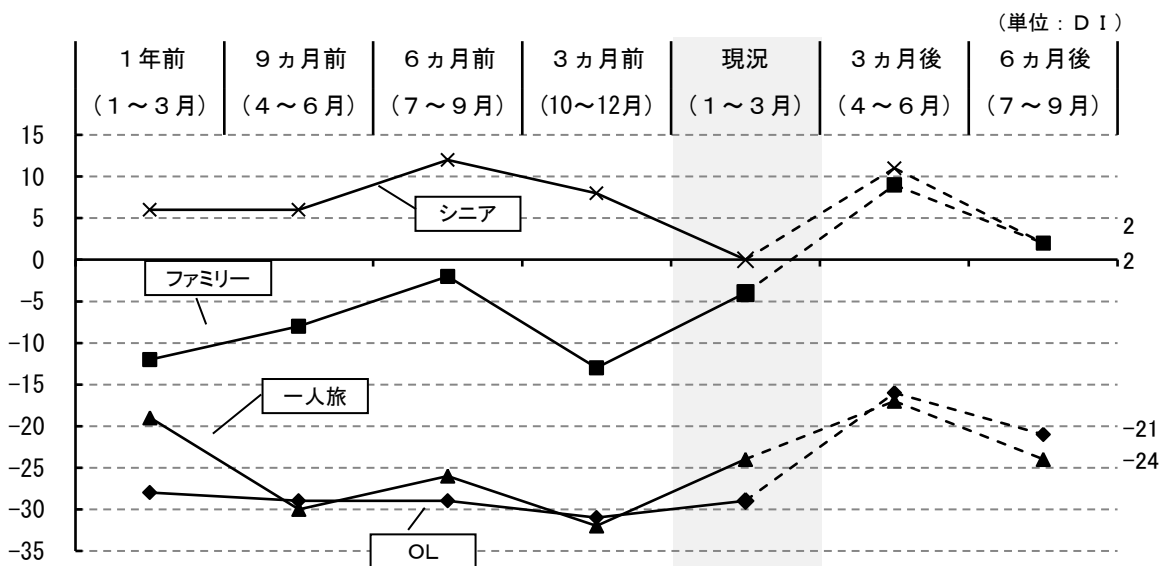


	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
招待・報奨	-23	-11	-12	-8	-23	-12	-14
職場	-19	-8	-12	2	-24	-9	-15
サークル・親睦	-25	-13	-7	-19	-16	-7	-11
教育	-17	-10	-7	0	-25	-6	-9

◆国内旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べ、「シニア」以外の全てで増加。「ファミリー」は+9ポイント、「一人旅」は+8ポイント、「OL」は+2ポイントの回復。1年前の同時期と比べて高かったのは「ファミリー」のみで+8ポイントだった。
- ・ 3ヵ月後（1～3月）は、全てのカテゴリーで増加。「OL」「ファミリー」は+13ポイント、「シニア」は+11ポイント、「一人旅」は+7ポイントの回復が見込まれる。「シニア」「ファミリー」がプラス圏となる見込み。

N:有効回答数
(N=158)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
OL	-28	-29	-29	-31	-29	-16	-21
ファミリー	-12	-8	-2	-13	-4	9	2
一人旅	-19	-30	-26	-32	-24	-17	-24
シニア (60歳以上)	6	6	12	8	0	11	2

■訪日旅行全般の業況について

現況は低下傾向が続き、マイナス圏となった。北海道はやや回復するも地震の影響も残りマイナス圏のまま。他の地域も全体的に低迷。3ヵ月後のお花見シーズンには1年半ぶりに上昇が見込まれる。

総合

訪日旅行全般の現況は3ヵ月前から-4ポイント低下するも、前回見込みを+2ポイント上回った。地震被害のあった「北海道」は+16ポイントと大きく回復したが、前年同時期は下回った。全体的な減少傾向も重なり、全体のDI値はマイナス圏となった。3ヵ月後は1年半ぶりに上昇に転じる見込み。6ヵ月後の業況は3ヵ月後と同等になることが期待される。

現況（1～3月）は前回調査時の見込みほどは落ち込まなかったものの、全体的に低下傾向。

訪日旅行全般は3ヵ月前(10～12月)より-4ポイント低下しマイナス4。

- ・「SNSに敏感で、有名ブロガーが取材した箇所に行きたがる傾向にある。」（訪日旅行系旅行会社）
- ・「訪日外国人旅行は団体が減りつつある一方、FIT旅行が多くなっている。」（訪日旅行系旅行会社）
- ・「FIT化の加速により、売上が伸びない要因となっている」（総合旅行会社）

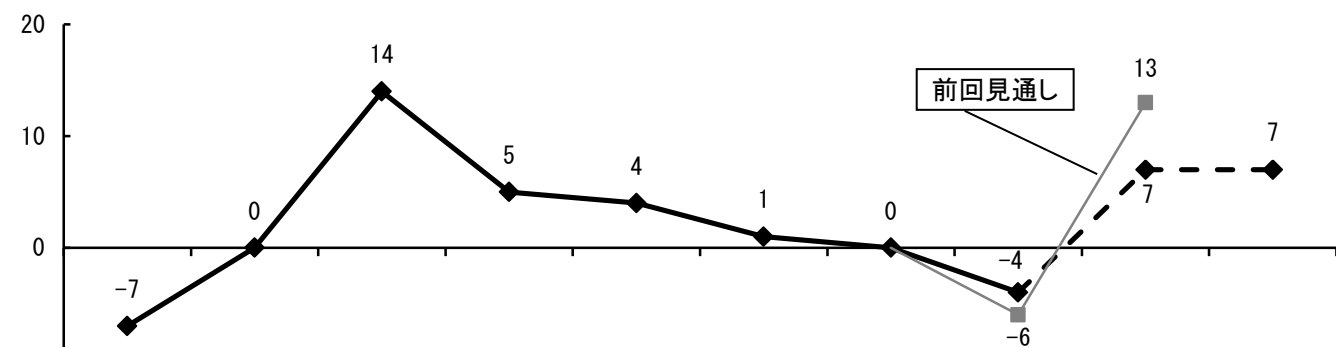
3ヵ月後（4～6月）はプラス圏内まで回復する見通し。6ヵ月後は好調が維持されることが期待される。

3ヵ月後(4～6月)は+11ポイント増加しプラス7。6ヵ月後(7～9月)もプラス7を維持

- ・「訪日外国人は桜のシーズンを前にして例年通り順調に予約を伸ばしている。」（リテラー1）
- ・リピーターが多くなり、行き先の提案に工夫が必要になってきている」（訪日旅行系旅行会社）
- ・FIT化の進展により、モバイル予約してそのままQRコードで参加できるような商品、プラットフォームの需要が高まっている。（総合旅行会社）

(単位：DI)

N:有効回答数
(N=109)



(単位：DI)

2年前 (1～3月)	1年半前 (7～9月)	1年前 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
-7	0	14	5	4	1	0	-4	7	7
							※-6	※13	

※2018年12月期調査見通し数値

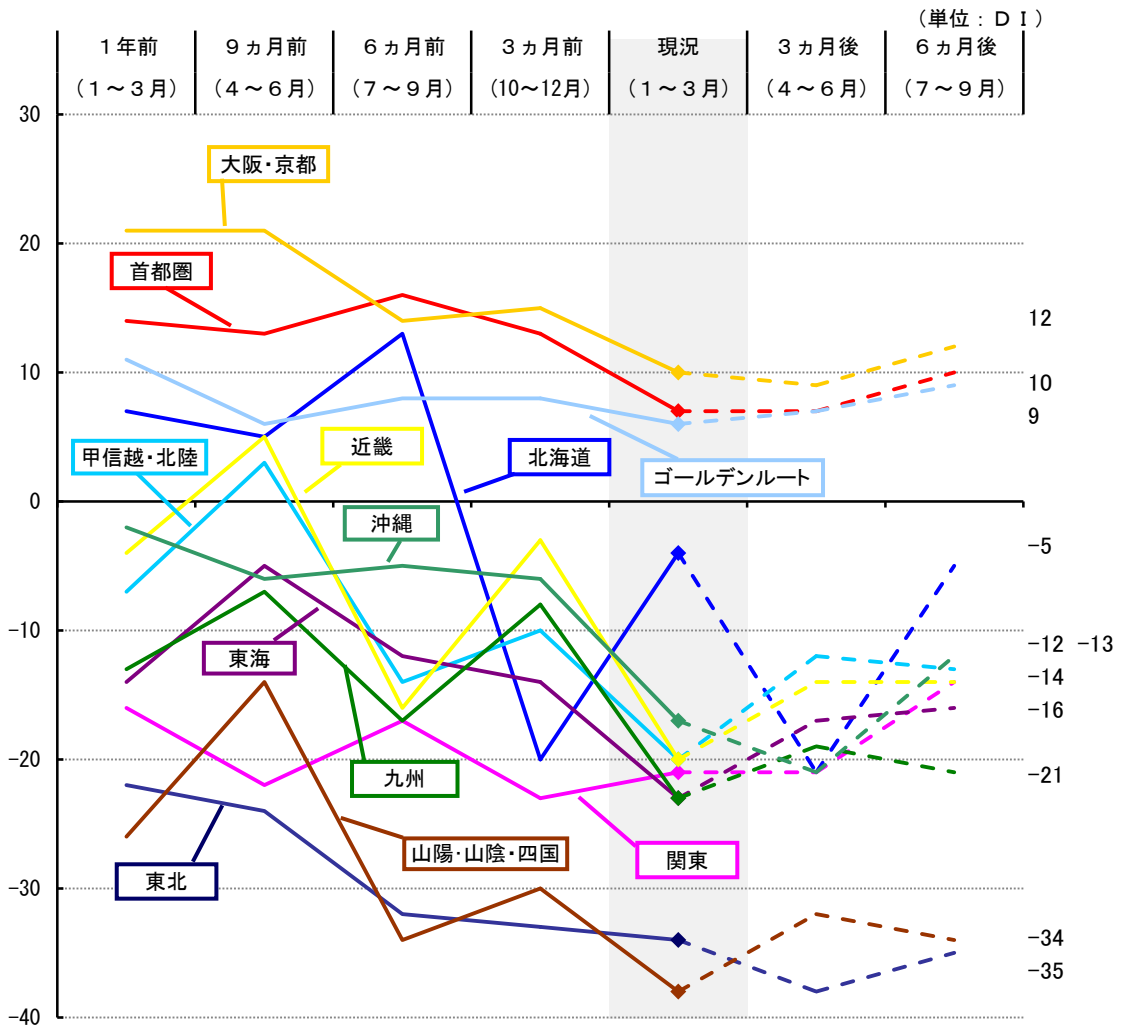
	1年半前 (7～9月)	1年前 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
総合旅行会社	19	16	8	29	18	16	-16	6	5
リテラー1	-22	20	11	0	10	16	31	25	34
リテラー2	-24	0	15	-11	-3	0	-13	-4	-4
インハウス	0	12	-27	-15	-9	-11	-17	-9	-18
ネット系旅行会社	40	0	67	33	0	100	0	0	0
訪日旅行系旅行会社	-3	17	0	10	-4	-12	0	18	27

◆訪日旅行の需要動向（方面別）

現況は低下した地域が多く、前年同時期と比べてるとすべての地域で低下していた。北海道は大きく回復するも、地震の影響が見られ、マイナス圏に留まった。3ヵ月後はやや回復する地域も見られるが、全体的に低迷。全体が盛り返すのは6ヵ月後となる見通し。

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べて「北海道」は+16ポイントと大きく回復するも、1年前と比較すると大きく低下。それ以外の地域も前年同時期と比べるとすべての地域で低下が見られた。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は「甲信越・北陸」（+8ポイント）、「東海」「近畿」「山陽・山陰・四国」（+6ポイント）と増加する地域も見られるが、「関東（茨城・栃木・群馬）」「ゴールデンルート」以外の地域は1年前を下回る見込み。6ヵ月後（7～9月）は全体的に増加する地域が多く、前年同時期と同程度までには持ち直す地域が半数程度になる見込みとなった。

N:有効回答数
(N=109)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
北海道	7	5	13	-20	-4	-21	-5
東北	-22	-24	-32	-33	-34	-38	-35
関東(茨城・栃木・群馬)	-16	-22	-17	-23	-21	-21	-14
ゴールデンルート(関東⇄関西)	11	6	8	8	6	7	9
首都圏(TDR含む)	14	13	16	13	7	7	10
甲信越・北陸	-7	3	-14	-10	-20	-12	-13
東海	-14	-5	-12	-14	-23	-17	-16
大阪・京都(USJ含む)	21	21	14	15	10	9	12
近畿	-4	5	-16	-3	-20	-14	-14
山陽・山陰・四国	-26	-14	-34	-30	-38	-32	-34
九州	-13	-7	-17	-8	-23	-19	-21
沖縄	-2	-6	-5	-6	-17	-21	-12

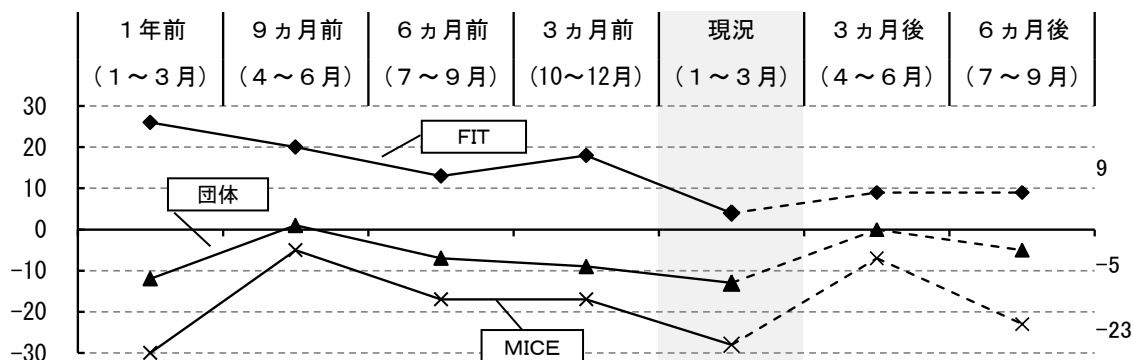
(単位：D I)

◆訪日旅行の需要動向（顧客層別）

- ・ 現況は3カ月前(10~12月)に比べ「FIT」(-14ポイント)、「MICE」(-11ポイント)、「団体」(-4ポイント)と全体的に低下。1年前と比べると「MICE」「団体」は同程度、「FIT」は-22ポイントと大きく低下するもプラス圏を維持。
- ・ 3カ月後(4~6月)はすべての顧客層で増加が見込まれた。前年同時期と比べて「団体」「MICE」は同程度、「FIT」は低くはなるが依然としてプラス圏の見込み。

N:有効回答数
(N=109)

(単位:DI)



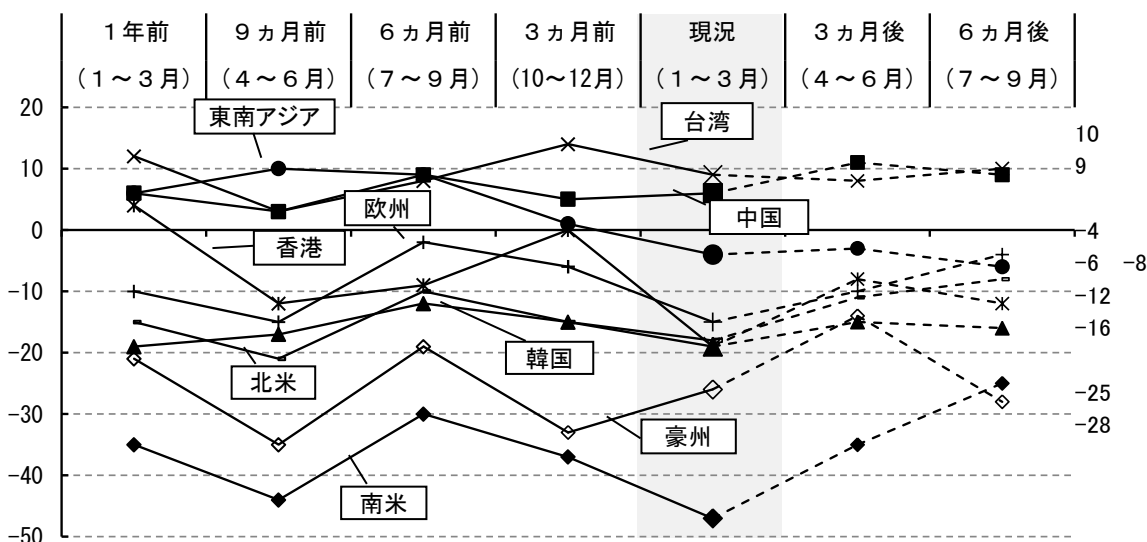
	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
FIT	26	20	13	18	4	9	9
団体	-12	1	-7	-9	-13	0	-5
MICE	-30	-5	-17	-17	-28	-7	-23

◆訪日旅行の需要動向（出身国別）

- ・ 現況は3カ月前(10~12月)に比べ、「豪州」(+7ポイント)、「中国」(+1ポイント)が増加。その他の地域は低下が見れた。特に「香港」(-19ポイント)「南米」(-10ポイント)が大きく低下した。
- ・ 3カ月後(4~6月)は、「台湾」以外の地域すべてで回復が見込まれる。特に「豪州」「南米」(+12ポイント)、「香港」(+11ポイント)と大きく増加。前年同時期と比べても、「台湾」以外はすべての地域で増加が見込まれる。

N:有効回答数
(N=109)

(単位:DI)



	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
中国	6	3	9	5	6	11	9
韓国	-19	-17	-12	-15	-19	-15	-16
台湾	12	3	8	14	9	8	10
香港	4	-12	-9	0	-19	-8	-12
東南アジア	6	10	9	1	-4	-3	-6
欧州	-10	-15	-2	-6	-15	-10	-4
北米	-15	-21	-10	-15	-18	-11	-8
南米	-35	-44	-30	-37	-47	-35	-25
豪州	-21	-35	-19	-33	-26	-14	-28